スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

千葉県市川市

自 治 体 名 ： 千葉県市川市
担 当 課 名 ： 学校教育部保健体育課
電 話 番 号 ： 047-704-8078

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	57.45㎢
人口（令和8年1月31日現在）	498,531人
公立中学校数	16校（義務教育学校1校含む）
公立中学校生徒数（令和7年5月1日現在）	9,218人
部活動数（運動部活動のみ）	158部活
地域クラブ活動数	17クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

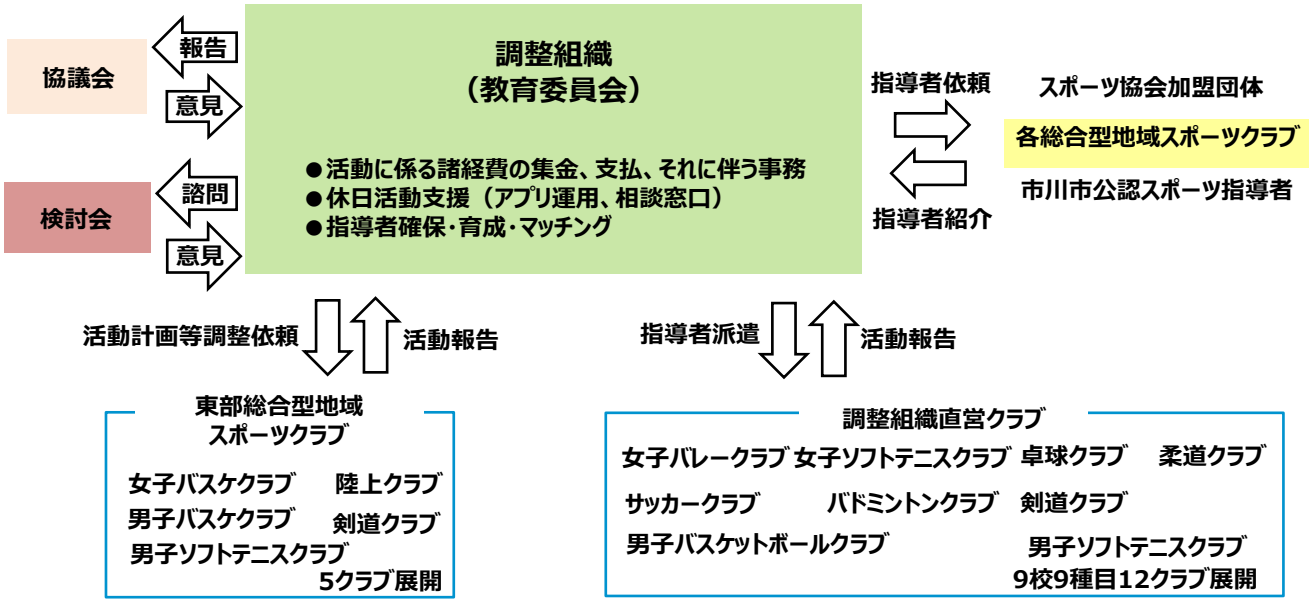
地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

市川市では令和6年9月から、市川市立第四中学校を部活動地域展開のモデル校とし、地域にある総合型地域スポーツクラブ（東部総合型地域スポーツクラブ）協力のもと、4種目の部活動で休日の地域クラブを開始した。令和7年度からは、展開するエリアをすべての中学校に広げ、地域クラブ数を段階的に増やすことができた。令和７年度末において、市内中学校の17の部活動を地域クラブへ展開し、活動を行っている。

令和8年度には文化系部活動の地域展開に着手し、令和9年度にさらに展開を広げ、令和10年度を目途に市内すべての中学校部活動の休日における地域展開完了を予定している。

課題としては、地域クラブ指導者の確保があげられる。課題解決に向けて、各関係団体と連携し、地域クラブ活動指導者の人材確保に努めていきたい。

また、調整組織（教育委員会）が担っている展開されている地域クラブの実施業務を、市内に5つある総合型地域スポーツクラブに協力をいただき、委託に向けての話し合いを庁内の協議会、検討会を実施している。市川市のより良い地域展開の実現に向けて関係団体と連携し、準備を進めていく。

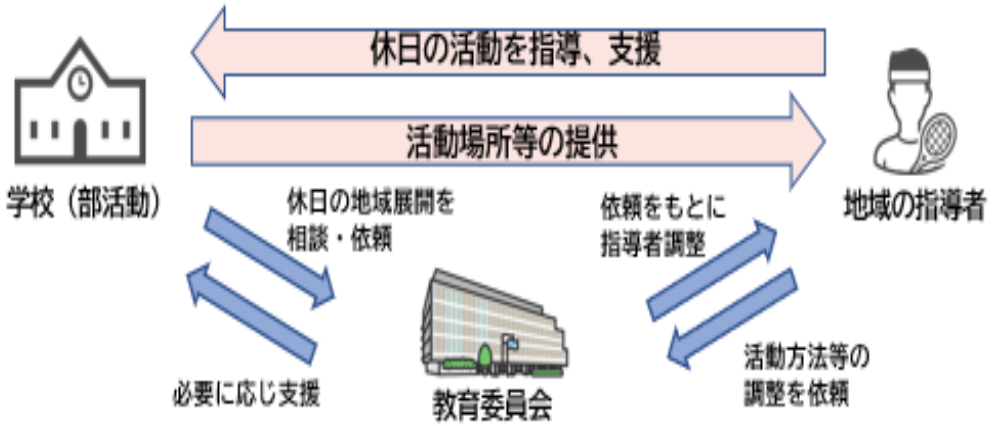


2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会（保健体育課）
- **市内中学校のクラブ化検討・指導者確保・指導者面接・指導者向け研修会実施・クラブ化希望部活と指導者とのマッチング・クラブ化に伴うオンライン保護者説明会・指導者との施設確認（鍵等）・休日活動支援（アプリ運用・相談窓口）・クラブ会員、指導者の保険登録支払い・指導者の活動報告管理、報償費支払い・会議体の調整・連絡**

◉市長部局（スポーツ計画課・スポーツ推進課）
- **東部総合型地域スポーツクラブの実施面のサポート**
- **調整組織（保健体育課）に市川市公認スポーツ指導者紹介**

年間の事業スケジュール

令和7年4月	中学校から部活動のクラブ化希望表提出 東部総合型地域スポーツクラブ代表者打ち合わせ
5月	地域展開モデル校新入生向け地域展開保護者説明会 検討会座長打ち合わせ
6月	第1期地域クラブ指導者候補者面接開始 地域クラブ化希望部活動と指導者とのマッチング開始
7月	第1回市川市部活動地域展開検討会 該当校長に地域クラブ指導者決定通知発出 第1期地域クラブ指導者施設確認開始（鍵等） 連絡ツールアプリ業者打ち合わせ 第1期地域展開オンライン保護者説明会
8月	第1回市川市の部活動地域移行検討協議会 地域クラブ指導者研修会
9月	第1期地域展開開始（新規9地域クラブ） 休日活動支援開始 第2期地域クラブ指導者候補者面接開始 地域クラブ化希望部活動と指導者とのマッチング開始
10月	第2回市川市部活動地域展開検討会 該当校長に地域クラブ指導者決定通知発出 第2期地域クラブ指導者施設確認開始（鍵等） 第2期地域展開オンライン保護者説明会 兼職兼業希望教員による人材バンク登録開始
11月	第2回市川市の部活動地域移行検討協議会 地域クラブ指導者研修会
12月	第2期地域展開開始（新規4地域クラブ） 兼職兼業希望教員の登録条件等ヒアリング開始
令和8年1月	第3回市川市部活動地域展開検討会
2月	第3回市川市の部活動地域移行検討協議会 4月より地域クラブ化する部活動に所属している生徒の保護者対象に地域展開オンライン保護者説明会
3月	各中学校に令和8年度地域クラブ化希望調査表発出（予定）

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		17クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		17クラブ（17部活動）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		0クラブ
全体の指導者数	20人	全体の運営スタッフ数	5人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
第四中剣道クラブ	市川市教育委員会	剣道	• 平日0回 • 休日4回	3時間	1年生：11人 2年生：11人 3年生：6人	令和6年9月～	2人	0人	0円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
第六中サッカークラブ	市川市教育委員会	サッカー	• 平日0回 • 休日4回	3時間	1年生：1人 2年生：19人	令和7年9月～	2人	0人	0円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
第五中バドミントンクラブ	市川市教育委員会	バドミントン	• 平日0回 • 休日4回	3時間	1年生：20人 2年生：12人	令和7年12月～	1人	0人	0円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
第一中柔道クラブ	市川市教育委員会	柔道	• 平日0回 • 休日4回	3時間	1年生：1人 2年生：5人	令和7年12月～	1人	0人	0円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

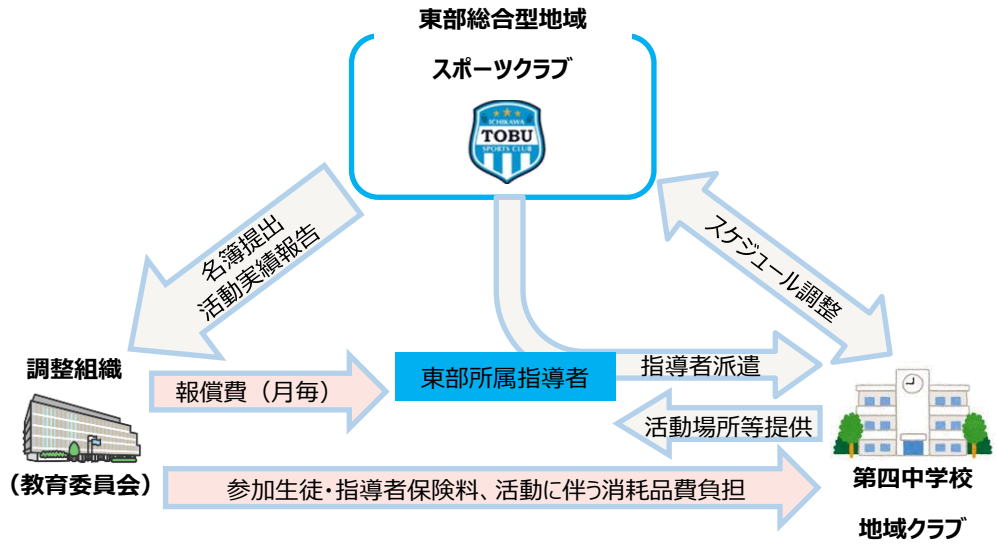
スポーツ庁

主な取組例

●東部総合型地域スポーツクラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上、剣道、女子バスケットボール 男子バスケットボール、男子ソフトテニス
運営団体名	市川市教育委員会 調整組織
期間と日数	陸上、剣道、女子バスケットボール 男子バスケットボール、男子ソフトテニス ：土曜日、日曜日、祝日の月4回程度
指導者の主な属性	地域人材 兼職兼業による教育委員会内の人材
活動場所	市川市立第四中学校 体育館、剣道場、校庭
主な移動手段	徒歩
1人あたりの参加会費等（年額）	陸上、剣道、女子バスケットボール、男子バスケットボール、男子ソフトテニス：0円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

- 自治体（調整組織）
  役割：活動に係る諸経費の支払い、クラブ会員の名簿管理、休日活動支援（アプリ運用、相談窓口）、指導者募集、指導者確保、クラブ指導者資質向上研修会実施、地域クラブ指導者を必要としている学校とのマッチング、指導者派遣、関係団体と地域展開に向けての進捗状況、検討会に向けての情報共有等。
- 統括責任者（東部総合型地域スポーツクラブ理事長）
  役割：調整組織に地域クラブ会員名簿の提出、指導者派遣、休日の活動支援
- 地域クラブ指導者　6名
  役割：休日における地域クラブの指導、スケジュール連絡、活動中の怪我や保護者対応、活動報告提出、研修会参加

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- 令和7年度から教育委員会に地域展開を担当する組織（調整組織）を立ち上げ、地域展開の運営体制を整えた。
- 各総合型地域スポーツクラブをはじめとした各関係団体と連携した。
- 地域クラブ活動を始めるにあたり、市川市部活動地域展開事業要項を作成し、各関係団体や地域クラブ指導者に周知した。
- 危機管理マニュアルを作成し、緊急時の対応について地域クラブ指導者と共有した。
- 休日の地域クラブ活動の様子を調整組織が見に行き、適切な指導をされているかの確認をおこなった。必要に応じて指導、助言を行った。

取組の成果

○ 5つの地域クラブ活動の地域展開の実施業務について、東部総合型地域スポーツクラブに協力いただきながら実施することができた。（P6参照）
○ 市川市部活動地域展開検討会を立ち上げ、学識経験者をはじめ多様な関係者から意見をいただいた。（P11参照）
○ 各中学校から地域展開の希望を調査し、希望のあった8校、12部活動に対して指導者を派遣することができた。
○ 対面型の地域クラブ指導者研修会を開催し、緊急時の対応等について確認を行った。

今後の取組における課題

△ 東部総合型地域スポーツクラブに実施業務を協力していただいている5つの地域クラブ活動以外は、全て調整組織が直営しており、他の4つの総合型地域スポーツクラブとは十分な連携ができていない。
△ 今年度、35人の指導者の確保を目指していたが、20人に留まっており、関係団体と連携して更なる人材確保が必要である。
△ 地域クラブ指導者として、指導に携わりたい先生方に対し、地域展開についての理解を深めていく必要がある。
△ 地域クラブ指導者にコンプライアンス等も含めた、指導力の向上に向けた研修等を展開していく必要がある。

課題への対応方針

- 調整組織が担っている業務を、市川市内に5つある各総合型地域スポーツクラブにお願いできないかを検討している。各総合型地域スポーツクラブに実施主体の協力をいただく中で、業務内容を整理し、システム等の構築を図り、実施業務をスムーズに各総合型地域スポーツクラブに移行していくことが重要であると考える。各総合型地域スポーツクラブ代表者と連携し、実施主体の協力に向けた準備を進めていく。
- 今後増えていく地域クラブに対応できるよう、地域クラブ指導者の確保は欠かせない。
  地域住民に対し、広報活動を充実させ、地域展開の理解を深め、指導者の人材確保に努めていく。
- 地域クラブ指導者に携わりたい教職員に対し、地域展開の理解を深め、地域クラブ指導者として人材バンクへの登録を進めていく。

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

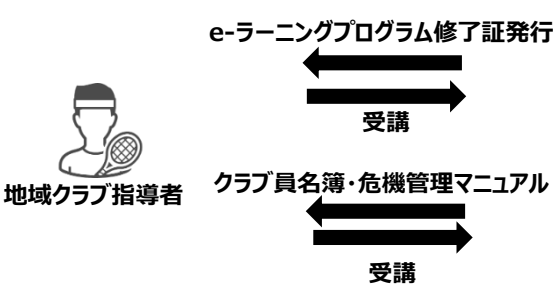
コーディネーターの具体的な動きの実績

- 調整組織の職員がコーディネーターとしての役割を担い、各関係団体に対して、地域展開における情報共有や連絡・調整等を行った。
- 各中学校の地域クラブ化をしたい部活動を把握し、必要としている地域クラブに指導者を派遣した。
- 地域展開の拡大に向け、地域クラブ指導者に興味のある先生を対象に地域展開の説明や、指導者としての登録条件等の確認を行い、人材バンクの登録へ繋げた。

地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

○ 調整組織とクラブ指導者、保護者、生徒、学校を繋ぐ連絡ツールアプリを導入し、出欠席の連絡や、スケジュール入力、一斉連絡等を相互にできるようにした。
○ 地域クラブの登録や、地域クラブ活動指導者の活動報告に際しては、フォームを活用することで、運営事務の効率化を図った。
△ 地域クラブの登録フォームと連絡ツールアプリが一気通貫ではないため、地域クラブに登録した方でアプリの登録をしていない方がいた。

運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組



○ オンライン研修を受講していただき、認定通知書の提出を必須とした。また、保健体育課が主催した、対面式の研修を開催し、受講していただいた。

地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

- 休日の地域クラブ活動中に怪我や事故等が起きた場合は、地域クラブ指導者が対応し、緊急性が高い場合等は調整組織に連絡ができる体制を整えている。
  地域クラブ指導者には、保護者の承諾のもと、保護者の緊急連絡先の所持を認めている。
- 地域クラブ指導者からの活動報告で怪我の確認が取れた場合は、調整組織から保護者に連絡を入れ、怪我の具合等の確認を行い、必要に応じてスポーツ安全保険の案内を行う。
- 大きな事故等や、不適切な行動が発生した場合は、調整組織が対応することとしている。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

- 部活動地域指導者として部活動の指導に携わってきた地域の方に声かけし、地域クラブ指導に携わる意志がある指導者の中から、地域クラブ活動指導者にご登録をいただいた。
- スポーツ推進課管轄の市川市公認スポーツ指導者の方や、各総合型地域スポーツクラブから 地域クラブ活動指導者の紹介をいただいた。
- 地域クラブ指導者の方を対象に研修を実施した。研修内容については、ちばクサポのオンライン研修、調整組織主催の対面型研修を実施し、緊急時の対応等についての確認を行った。

今後の取組における課題

△ 部活動の地域指導者の中には、地域展開について十分にご理解をいただけず、地域クラブ活動指導者にご登録をいただけない方がいた。
△ ご登録いただいた方の中には、マッチングする部活動が見つからず、地域クラブを紹介できない方がいた。
△ 地域クラブ指導者の確保に向け、地域展開に協力をしていただける企業との連携をしていく必要がある。
△ 地域クラブ指導に携わりたい先生方に対し、地域展開についての理解を深め、スムーズに調整組織に指導者登録ができるシステムを構築する必要がある。
△ 新規の指導者向けの研修以外に、継続して地域クラブ指導者として活動していただく方向けの研修等の在り方を考えていく必要がある。

取組の成果

属性別地域クラブ活動指導者の推移

	令和7年4月	9月	12月	合計
スポーツ推進課からの紹介	0人	+2人	+2人	4人
総合型地域スポーツクラブからの紹介	6人	+2人	0人	8人
調整組織による人材発掘	0人	+6人	+2人	8人

○ スポーツ推進課や各総合型地域スポーツクラブと連携し、指導者の紹介をいただき、指導者数の増加につながった。それに伴い、年度当初の指導者数は6人だったところ、今年度は新たに14人増え、20人の地域クラブ活動指導者を確保することができた。

課題への対応方針

- 令和8年度より兼職兼業制度を用いて、地域クラブ指導をしていただくため、指導に携わりたい先生方に人材バンクに登録をいただき、令和8年の4月以降に地域クラブとして活動する団体へ紹介する予定となっている。
- 指導者の登録者数を増やすため、指導者募集の広報資料を作成し関係団体を通じて配布することで、地域展開について理解をいただきながら、指導者確保に努める。また、各関係団体とさらに連携を深め、指導者として協力いただける方を発掘したい。
- 地域クラブ活動指導者には、県が行う研修会を案内し、市主催の研修会に出席を
促したりすることで、資質の維持と向上に努める。また、指導経験が豊富な指導者の地域クラブを見学し、指導スキルの向上につながるクリニック等の開催を検討していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

多様な人材の発掘・配置に向けた取組

○ 市川市公認スポーツ指導者の講習会にて部活動地域展開について広報した。
○ 各関係団体の担当者と繰り返し面談を行い、地域展開の現状と今後について報告するとともに、指導者確保の協力を要請した。
○ 地域展開の希望をしている学校の校長先生から、指導者の紹介をいただき配置した。
△ 市内の人材を優先的に確保するという観点から、千葉県の人材バンクの活用に至っていない。
△ 指導者の確保に向けた、大学や企業とのつながりがない。

指導者研修の内容

研修名	地域クラブ活動における怪我等の対応について
講師	東部総合型地域スポーツクラブ　理事長
研修内容	• 部活動地域展開事業要項 • 市川市学校部活動の運営方針 • 個人情報取扱に関する留意点 • 市川市地域クラブ活動　緊急時連絡体制 • 一次救命処置マニュアル、頭頚部外傷対応マニュアル • 熱中症対応マニュアル、落雷事故防止対策 • 実技を交えた、怪我をした時のアイシング、固定等の方法について

指導者研修受講者の声

●参加者の声

参加者①
実技を交えた研修では、三角巾を使用した固定方法を知ることができ良かった。休日の指導中に大きな怪我や事故等があった時の連絡体制が整っており、不安を解消することができた。保護者、生徒と情報共有ができる連絡ツールアプリの導入も大変ありがたいと感じた。アプリの機能には各家庭からの出欠席の連絡や、練習内容等をアプリ内に掲載し、振り返りができる機能もあるので平日の練習に活かしていけたらと思う。

参加者②
地域クラブ指導者として、細心の注意を払い、怪我や事故等には十分に気を付けて指導に務めようと思った。中学生の年代は身も心も大きく成長する時期にもなるので、ハラスメントに注意し、適切な指導を心掛けていきたい。指導経験が浅いので、練習メニューや指導に関する動画等を見ながら自分自身も学んでいきたい。

参加者③
指導に対しての経験があまりないので、適切な指導方法等の研修を行っていただけるとありがたい。ちばクラサポのオンライン研修では、様々な項目があり、指導者としてどれも大切な内容と感じた。指導に困った時は、動画を見直しながら指導力の向上に繋げていきたい。
対面研修ではアイシングや、三角巾を使っての固定方法等について学ぶことができた。実際に使う場面がきたときは今回の研修で学んだことを活かし、落ち着いて対応していきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- スポーツ協会、中学校体育連盟、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員等の関係者との連携を強化し、本市における地域展開についてご意見をいただくために、今年度から新たな会議体として部活動地域展開検討会を設置し、7月、10月、1月の3回開催した。

（部活動地域展開検討会　委員）
・学識経験者　・市内各総合型地域スポーツクラブ　代表者
・市川市スポーツ協会　代表者　・市川市スポーツ推進委員　代表者
・千葉県小・中学校体育連盟市川・浦安支部　代表者　　ほか

取組の成果

○ 部活動地域展開検討会にて、以下の議題について検討協議し、それぞれについて多様な角度からご意見をいただくことができた。
○ 本市の地域展開に関わる方々と情報共有することにより、ご理解をいただきながら将来像に向けて準備を進めることができた。
- 市川市における部活動地域展開の将来像（案）について
- 市川市における部活動地域展開のロードマップ（案）について
- 地域クラブ活動参加に伴う受益者による費用負担について
- 部活動地域展開に係る関係団体の役割について
- 質の高い地域クラブ指導者の確保・育成について

今後の取組における課題

△ 受益者負担の金額や開始時期については、議論が十分にまとまっていないため、引き続き継続して協議が必要である。
△ 国が掲げる「地域クラブ活動において実現が期待される新たな価値」のひとつとして挙げられている「生徒のニーズに応じた多種多様な体験」の実現に向け、各関係団体と引き続き協議が必要である。
△ 休日だけでなく、平日も含めた地域展開の実現に向けて、さらに議論を深める必要がある。

課題への対応方針

- 次年度も継続して部活動地域展開検討会を開催し、関係者と課題をひとつひとつ共有しながら解決に向けて協議を行う。
- 検討会以外の場でも、各団体の関係者には引き続き進捗の報告、地域展開に係る課題解決の相談を個別に行い、連携の強化を図る。
- 今後は市内の大学や企業等にもアプローチし、地域展開への協力を要請することを検討していく。
- 平日の地域展開実施しに向け、活動場所や活動時間など、地域展開に関わる方々からご意見をいただきながら検討していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実

取組事項

- モデル校の生徒を対象に部活動にない種目のニーズ調査を行った。
- モデル校の新入生部活動オリエンテーションに調整組織（保健体育課）が参加し、地域展開の方向性や、モデル校で立ち上がっている地域クラブについての説明を生徒、保護者に行った。
- 新たに立ち上がった地域クラブに加入した生徒、保護者を対象に調整組織（保健体育課）主催の説明会をオンライン形式で実施した。
- 1校の生徒を対象に、生徒たちがやりたい種目のニーズ調査を校長先生にご協力いただいた。

今後の取組における課題

△ 地域クラブに展開していない生徒、保護者に対して十分に説明する機会をもつことができていないため、地域展開について理解を得る必要がある。地域展開の目的や意義、活動内容、運営体制、安全管理、費用負担などについて正確な情報を伝える必要がある。
△ 地域クラブ活動の充実や今後の運営体制を検討するうえで、市内すべての小・中学校を対象とした生徒の希望種目に関するニーズ調査を実施することが重要であったが、市内すべての小・中学校を対象とした、希望種目のニーズ調査を行うことができなかった。希望種目等を把握したうえで、持続可能な地域クラブ活動の実現につなげていく必要がある。

取組の成果

○ 部活動にない種目のニーズ調査を行うことで、生徒の実態を把握することができた。
○ 新入生オリエンテーションや、オンライン保護者会を通して地域展開の説明をすることで生徒や保護者から一定の理解を得ることができた。
○ フォームを活用して地域展開の質問を常時受け付け、電話やメールでそれぞれの問い合わせに回答をすることで地域展開の不安解消へと繋げることができた。
○ 地域指導者より、調整組織（保健体育課）に怪我の報告があった場合は保護者連絡を行うことにより、安心感を与えることができた。

課題への対応方針

- 市内すべての小・中学生がどのようなスポーツや文化活動に興味・関心を持ち、どのような活動への参加を希望しているのかを把握し、地域クラブ活動の種目設定や、運営方針をより実態に即したものにする。
- 地域展開しない部活動も引き続き一定数残ることから、生徒、保護者に対し、広報資料の配布、学校だよりやホームページ等を活用した情報発信を積極的に行い、地域クラブ活動の内容や参加方法、運営体制、安全面への配慮などについての理解を深める。また、生徒や保護者からの意見や質問を受ける機会を設け、双方向のコミュニケーションを図りながら理解を深めていく。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

取組事項

- 地域クラブ活動の運営や今後の持続可能な体制づくりについて検討を進める中で、検討会や、協議会において受益者負担の開始時期等に関する意見交換を行った。その中では、受益者負担の必要性について一定の理解を示される一方で、導入開始時期や、保護者への周知方法、家庭への経済的影響などについて、さまざまな立場から多くの意見をいただいた。
- 総合型地域スポーツクラブ代表者と実施業務に係る必要経費についてヒアリングを行い、実施業務に必要な経費の妥当性及び効率的な執行方法について総合的な検討を行った。

今後の取組における課題

△ 文化部も含め、全ての地域クラブの受益者負担額の適切な金額設定について更なる検討が必要である。
△ 受益者負担額の開始時期も意見が分かれているため、継続して議論を続ける必要がある。
△ 地域や保護者の方に地域展開の受益者負担に係る広報活動の促進が不十分である。
△ 地域展開に係る財源の確保が急務である。

取組の成果

○ 検討会や協議会を通して受益者負担に関する協議を重ねた結果、受け益者負担が開始された際に想定される資金の流れについて、一定の理解を得ることができた。また、受益者負担は、単に費用を利用者に求めるものではなく、活動の価値や、持続可能な地域クラブ活動を実現するための重要な仕組みであることを共有することができた。
○ 総合型地域スポーツクラブを通じて、企業から地域クラブ活動で使用する物品の寄付を得ることができた。寄付を受けた物品は、練習器具や熱中症対策用品など地域クラブ活動の円滑な運営や活動環境を整えた。

課題への対応方針

- 検討会や協議会を通して、具体的な受益者負担額や開始時期に向けて検討を重ねていく。
- 地域や保護者の方に地域展開に係る受益者負担の広報資料を作成し、理解促進に努めていく。
- 地域クラブ指導謝金、スポーツ安全保険加入料、地域クラブ消耗品費等の費用をすべて公費で賄っている現状があるので、市川市とゆかりのある企業とつながるべく、企業に対しても地域展開の広報活動を行っていきたい。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

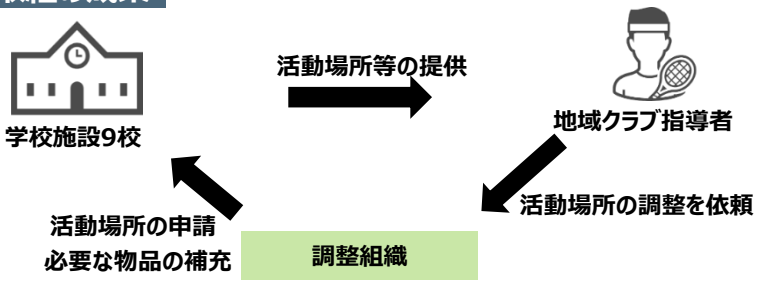
取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

- 学校施設で活動する地域クラブにおいては、円滑な運営を図るため、学校長の了解の下、必要な鍵や施設管理に関する備品を地域クラブ活動指導者に貸し出した。鍵の貸し出しにあたっては、施設利用に関するルールや安全管理について事前説明を行い、地域クラブ指導者との共通理解を図った。
- 一部の学校においては、地域クラブ活動指導者に校外に鍵の持ち出しをさせずに、学校に設置されているキーボックスを有効活用し、鍵の管理を行った。
- 熱中症対策として、体調不良者がでた場合は、速やかに冷房が効く部屋の移動経路について事前に確認を行い、緊急時の対応に備えた。

取組の成果



○ 今年度立ち上がった17クラブについては、安全に留意し、9校の学校施設を利用して地域クラブ活動をすることができた。
○ 学校施設を優先的に使用し地域クラブ活動を実施することができた。

今後の取組における課題

△ 今年度利用した学校施設はセキュリティ上問題のない箇所を利用し、地域クラブ活動を行った。今後はセキュリティの解除を必要とする学校施設を利用した地域クラブ活動に備え、準備する必要がある。
△ 学校は児童生徒の安全確保を最優先とする施設であり、地域利用の拡大によって外部利用者の出入りが常態化することで、施設管理や安全管理の徹底について関係者に周知する必要がある。
△ 現在は、学校の部活動の顧問の先生が活動時における体育館や校庭の調整を行い、地域クラブ指導者と共有し、地域クラブ活動の計画を行っている。将来的には、運営団体や実施主体が活動場所の調整を担う必要がある。

課題への対応方針

- 地域クラブで学校施設を利用する場合は、セキュリティ上問題となる箇所の把握に努め、地域クラブが使用できる学校施設の整備を進めていく。電子錠（スマートロック）や、地域クラブ利用者専用のアラーム等の設置を検討していく。また、利用ルールの標準化、責任体制の明確化、安全管理研修の実施等を検討していく。
- 地域クラブの活動場所の調整は、部活動が残っていることから学校の先生の協力をいただきながら、段階的に事務局側が調整できる体制を整えていく。学校、教育委員会、各総合型地域スポーツクラブが共通して利用できる施設予約システムの整備や、利用ルールの標準化、年間利用計画の共有体制の構築が求められる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

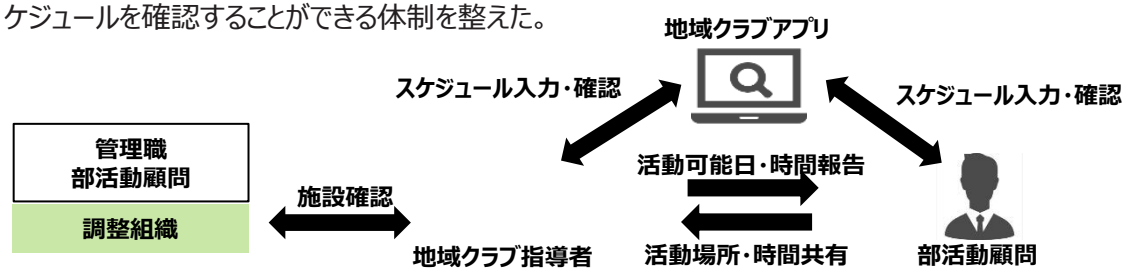
スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

学校施設利用上の負担軽減に向けた取組

○ 地域クラブが活動する各中学校の管理職、部活動の顧問の先生、調整組織、地域クラブ指導者の四者で施設利用上の注意点等の確認を事前に行い、地域クラブ活動指導者による単独での施設利用を実現した。
○ 本市が導入している連絡ツールアプリ内で部活動の顧問と、地域クラブ指導者が連絡を取り合うことができる体制を整えた。
○ 連絡ツールアプリ内のスケジュールに活動場所や活動時間の入力を行い、地域クラブに関係するすべての人が施設の利用スケジュールを確認することができる体制を整えた。

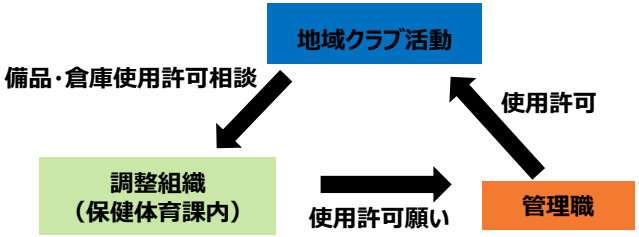


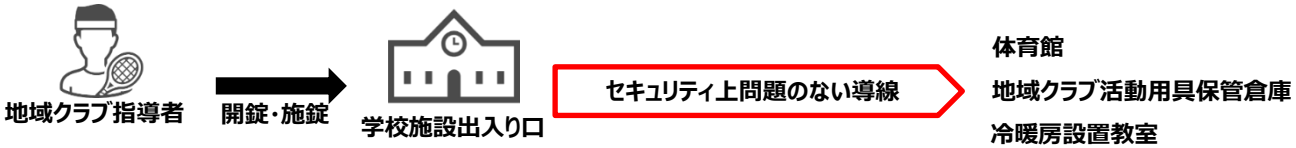


アプリ内のスケジュール機能
地域クラブに関係するすべての人が確認可能

用具使用・管理等における取組

○ 調整組織から、地域クラブが活動する各中学校の管理職に部活動で使用している備品等を地域クラブ時の使用許可の確認を行った。
○ 調整組織が購入した地域クラブ活動で使用する消耗品を保管するスペースを部活動で使用している倉庫内に確保し、地域クラブ活動単独での利用を実現した。
○ セキュリティ上問題のない、活動施設まで入れる導線を各中学校の管理職に確認し、使用の許可を得た。主に、熱中症対策として冷暖房が設置されている教室や、体育館まで行くことができる導線の許可を得ることができた。





体育館
地域クラブ活動用具保管倉庫
冷暖房設置教室

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

○ 教育委員会内に地域展開を専属とする調整組織を立ち上げ、地域展開事業促進を図ることができた。

○ 令和6年度9月より東部総合型地域スポーツクラブに実施主体のご協力をいただき第四中学校をモデル校とし、4部活、6人の地域クラブ指導者で地域展開をスタートさせた。今年度は年度初めに各中学校に部活動の地域クラブ化希望を聞き取り、希望に応じて地域クラブ指導者を派遣した。地域クラブ指導者不足の問題もあり、全ての地域クラブ化希望に答えることはできなかったが、17部活20人の地域クラブ指導者で地域クラブ活動の拡大へと図ることができた。

○ 今年度より、スポーツに精通する学識経験者を交えた地域展開検討会を開催し、地域展開の理解を得るとともに、様々なご意見をいただき地域展開完了に向けた将来像を描くことができた。

○ 令和8年度より兼職兼業制度を用いて、地域クラブ指導に携わりたい先生方に地域クラブ指導の協力をいただくため、小・中・義・特別支援学校の教職員に対して地域クラブ指導に対してのニーズ調査を行い、人材バンク登録へのお願いを行った。人材バンクへ登録をいただいた先生方にお会いし、地域クラブ指導者の登録条件や指導可能種目、指導可能エリアの確認を行った。

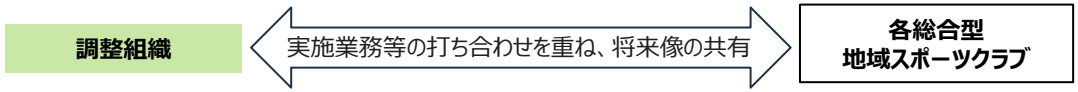
○ 現在、調整組織が担っている実施業務を将来的には市川市内に5つある各総合型地域スポーツクラブに実施業務のご協力をお願いする予定となっている。実施業務委託に向けての打ち合わせを重ねる中で、一定の理解を得ることができ、将来像を共有することができた。

●成果の評価

庁内の協議会とスポーツに精通する学識経験者を交えた検討会を3回開催し、部活動地域展開の方向性や課題を共有し、一定の理解を得るとともに上記の表のように各関係団体と協力しながらクラブ数、指導者数の増加へと繋げることができた。また、令和8年4月からは兼職兼業制度を用いて新たに小・中学校の10名の先生方に協力いただき、8クラブの新設を予定している。

市川市地域展開クラブ数・指導者数

	令和7年4月～	9月～	12月～
地域クラブ数	4クラブ	14クラブ	17クラブ
地域クラブ指導者数	6人	16人	20人



●今後に向けて

目標としていたクラブ数の立ち上げに届かなかった要因として、調整組織内にある人材バンクへの登録状況が思わしくなく、地域クラブ化を希望していた部活動に指導者を派遣することができなかったことが挙げられる。来年度は70の地域クラブの立ち上げを予定しており、さらに多くの指導者を確保する必要がある。人材バンクを充実させるため、地域や保護者に地域展開についての広報資料を作成し、人材バンク登録の充実を図っていきたい。また、地域展開に関わる関係団体とも連携し、適切な人材を確保し、必要としている地域クラブに派遣していきたい。令和8年度からは兼職兼業制度を利用し、地域クラブ指導に携わりたい教職員による地域クラブも実施予定となっている。

子どもたちのために、これまで以上に多くの種目に指導者を派遣できる体制を整えていきたい。

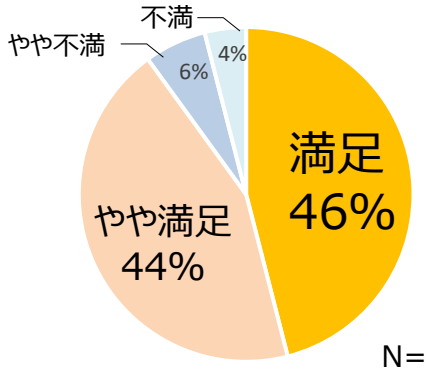
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

アンケート結果・参加者/関係者の声

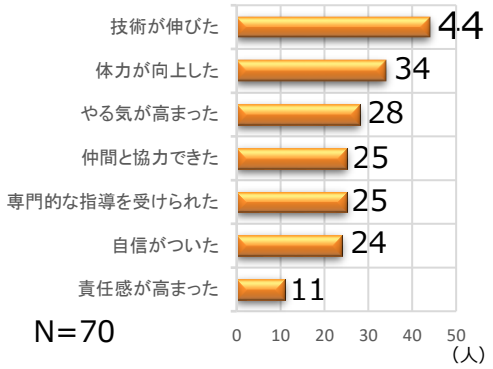
●アンケート結果（令和8年1月、地域クラブ活動関係者を対象に実施）

Q.地域クラブ活動に対する満足度を教えてください。（生徒）



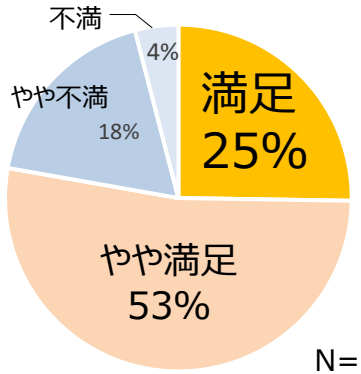
N=70

Q.地域クラブ活動に参加して身についたと感じることは？（生徒／複数選択可）



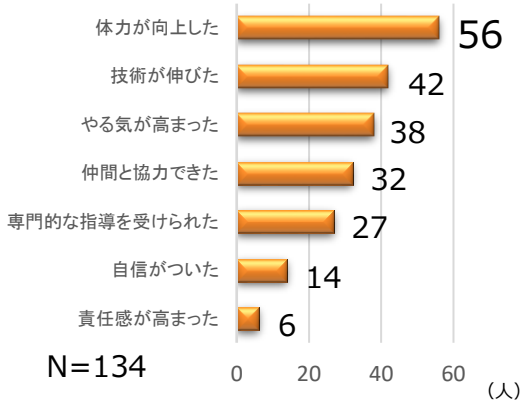
N=70

Q.お子さんが通っている地域クラブ活動に対する保護者の満足度を教えてください（保護者）



N=134

Q.お子さんが地域クラブ活動に参加して身についたと感じることは？（保護者／複数選択可）



N=134

●参加者/関係者の声

参加者/地域クラブ指導者
指導者の確保や各団体との調整等、本当に大変だと思います。いつもありがとうございます。
幸いにも、今の生徒達がとても素直で良い子供たちなので、教えていてやりがいを感じます。いつも良いとは限りませんので、地域の指導者として、どんな生徒にも対応できる力を磨きたいと思います。
これからも地域展開の発展に向けて、少しでも力になれたら嬉しいです。

参加者/教職員
とても良い指導者を紹介して下さりありがとうございました。コーチが2週に一度来て下さる形ですが、活動を2週に一度にするわけには行かず、また生徒同士の人間関係のクレーム等もあるために結局は顧問が土日に行かなくてはならないので、その点だけ解決策が見つかればと思っています。

参加者/保護者
先生の負担を減らし、地域展開には大いに賛成ですので、人材を確保していただき子供達の育成に力を注いでいただきたい。
学校の先生方の負担を考えると、このような活動はどんどん増えてほしいと思う。今は土日祝日のみの地域クラブなので、今後は平日も地域クラブ管轄になるといい。地域展開の理解が追いついてなく、どのように関われば良いか、練習をしっかりやっているか等不安もある。

参加者/生徒
地域のコーチがわかりやすく丁寧に指導してくれるから。3時間以内という短い時間で質の良い練習をさせてくれる。ちゃんと自分に対して何が足りないかを教えてくれるから。前よりバドミントンがうまくなった気がするから。
練習試合をたくさんやりたい。試合で使える戦術をもっと教えてほしい。

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

参考資料



【地域クラブ指導者研修会　けがの処置について】



【陸上クラブ活動風景】



【卓球クラブ活動風景】



【バドミントンクラブ活動風景】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

1.本市の取組（令和4年～令和5年）
国・県の動向を踏まえ、本市では以下のように取組んだ。

令和4年

市川市の部活動地域移行検討協議会を設置、開催

- 事業の方針、第四中学校におけるモデル校イメージ等を検討
- 市川市webページにて「学校部活動の地域移行について」リーフレット公開

令和5年

東部総合型地域スポーツクラブ※の設立

※総合型地域スポーツクラブは、多世代（子どもから高齢者まで）、多種目（様々なスポーツを愛好する人々が）、多志向（それぞれの志向、レベルに合わせて参加できる）という特徴を持ち、地域住民によって、自主的・主体的に運営されているスポーツクラブである。

一歩進めるために、第四中学校におけるモデル事業スタート

2.本市の取組（令和7年～令和10年予定）

令和7年

- 調整組織（保健体育課）設立、全市的な地域展開開始（9月～）
  四中モデルクラブ含め35部活（35指導者）からスタート予定
- 検討会設立⇒受益者負担の時期・金額等検討

令和8年

- 文化部における地域クラブ化着手
- 地域クラブでの大会出場制度や、土日の指導をしたいという教師に対し、兼職兼業による地域クラブ指導の実施を検討
- 地域クラブ活動の拡大

令和9年

- 地域クラブのカテゴリー分け着手
- 参加生徒の受益者負担開始
- 地域クラブ活動の拡大

令和10年

- 一部地域クラブで平日の地域展開着手
- 地域クラブ活動の拡大
- 休日の完全クラブ化完了（9月）、中間評価実施

中間評価を実施し、令和10年以降は、改めて取組方針を定め、平日の地域展開について検討し、更なる改革を進めていく予定。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

市川市教育委員会
学校教育部保健体育課

